武雄市白岩運動公園整備及び新体育館建設に係る基本設計書【概要版】

白岩運動公園のコンセプト

みんなにやさしい開かれた空間

〇まちに開かれ、賑わいがあふれる空間
・まちの活性化や回遊性の向上に好影響を与えるひとつの場所として、そこに人々が気軽に集い、出会い、ふれあい、つながる交流空間をつくります。
〇家族も仲間もひとりでも、1日過ごせる楽しみがある空間
・市民が生涯にわたり、いつでも、だれとでも、それぞれの時間の楽しみ方が広がる空間をつくります。
〇もしもの災害にも、市民に寄り添う空間
・災害が発生したときの拠点となる空間をつくります。

新体育館のコンセプト

スポーツから新たなシーンがはじまる体育館

〇みんなの1歩を呼び起こす、きっかけが見つかる体育館
・年齢や体力、経験に関係なく、スポーツに触れたり体験し、生活の中にスポーツを無理なく　取り入れ続けることで、健康で幸せな生活を送ることができる環境を整備します。
〇スポーツによる新たな文化がはじまる、楽しい体育館
・ハイレベルの大会から市内大会まで、大小様々な競技スポーツ大会を開催、観戦できる環境を　整備します。
〇市民生活のあらゆる側面をサポートする、使いやすい体育館
・災害が発生したときの避難所、救命・救助活動等の拠点としての機能を整備します。
・ユニバーサルデザインに配慮し、様々な目的で訪れる市民の憩いや交流の場にもなるよう、 オープンスペースや駐車場を十分に確保します。

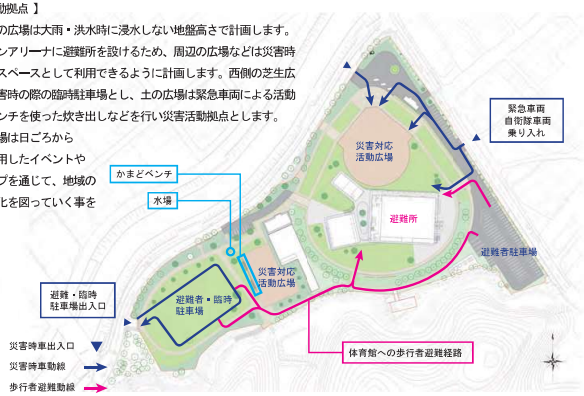
施設概要

白岩運動公園

・各広場
土の広場（北）2830 ㎡ / 芝生広場（東）1100 ㎡ / 舗装広場 1400 ㎡ / 子供広場 350 ㎡ / 芝生広場（南）1650 ㎡
土の広場（西）1370 ㎡ / 芝生広場（西）4500 ㎡
・ランニングコース（750m+250m+400m）
・弓道場・駐車場：東側駐車場 95 台 +5 台（マイクロバス）+2 台（車いす）+ 弓道場前駐車場 7 台 +1 台（車いす）
・駐輪場：体育館付近 50 台 + 弓道場前 10 台
・かまどベンチ（長いコンクリートベンチ（天面デッキ）の一部かまど化（3 カ所））

施設計画イメージ図

【 森・川・人がつながる公園 】
豊かな森を背景に武雄川に向かって開く、誰もが気軽に立ち寄れる計画とします。各広場を繋ぐように、公園全体を巡る園路を設け、ウォーキング・ランニングコースとしても整備、トリムコースとのつながりを強化します。

【 多様な活動広場 】
利用者の多様な活動を受け入れる、広場を計画します。
「土の広場」今まで活動していたスポーツやスポーツ壁を使った一人遊び等様々な利用ができる広場
「芝生広場」気軽にスポーツの練習をしたり、寝転んだりくつろいだり来訪者の憩いともなる広場
「舗装広場」車両のり入れ可能なイベント広場、賑わいの中心となる広場
「子供広場」体育館と球場の面影に囲まれた子供たちが安心して遊べる広場
「縁側広場」体育館から公園を見守ることができる体育館と広場をつなぐ広場

【 災害時の活動拠点 】
体育館と周囲の広場は大雨・洪水時に浸水しない地盤高さで計画します。
災害時はメインアリーナに避難所を設けるため、周辺の広場などは災害時の様々な活動スペースとして利用できるように計画します。西側の芝生広場は大規模水害時の際の臨時駐車場とし、土の広場は緊急車両による活動や、かまどベンチを使った炊き出しなどを行い災害活動拠点とします。
それぞれの広場は日ごろから防災設備を活用したイベントやワークショップを通じて、地域の防災対応力強化を図っていく事を目指します。